

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山形県

行 事 名 称	防火訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 2 7 日（月）午前 9 時 0 0 分～9 時 3 0 分
実 施 場 所	致道博物館 構内
主 催 者	（公財）致道博物館

■実施内容

訓練の想定

出火地点は構内の重要文化財旧西田川郡役所一階階段付近とし、発見時、火が壁に沿ってのび、延焼の恐れがある状態。 訓練時の気象は風向 2 m/s、天気は曇。

訓練の内容

- ① 通報訓練 自動火災報知器が作動（全館鳴動）、職員が火災を確認し、消火器による初期消火、火事ぶれを行い管理棟に急報し、受付職員が消防署へ通報した。
- ② 避難訓練 館内放送により各職員が手分けして、各建物内の見学者を駐車場近くの売店に避難誘導し、自衛消防隊長に避難の終了を報告した。
- ② 消火訓練 （旧西田川郡役所北側の放水銃を用いた／写真①参照）
- ③ 搬出訓練 （重要物品の火災現場からの搬出は、今回は見送った）
- ④ 消火器の取扱講習は、構内にて水消火器を用いて訓練を行った／写真②参照

参加者及び役割分担

致道博物館自衛消防隊（館長・職員ほか 計 10 名／各担当係は重複している）

- ① 通報係（火災の確認・消防機関へ通報）4 名
- ② 避難誘導係（館内見学場所の観覧者の避難誘導とその確認）4 名
- ③ 消火係（動力ポンプを作動し、消火ホースを用いて消火活動を行う）2 名
- ④ 物品搬出係（重要物品の保護と搬出活動を行う）0 名
- ⑤ その他 救護係（けが人の救護）と記録係（写真撮影）1 名

特に工夫した点

今年は晴天のもと、計画通り実施、活動した。「大きな声での情報伝達」「見学者の的確な避難誘導」など職員一同《正確に・落ち着いて・素早く》消火活動できるように今後も防火訓練に精進したい。

問題点・課題

今年は旧西田川郡役所の防火設備を用いて訓練を実施した。放水銃のエンジン始動後、放水まで少し時間がかかった（冬期間に地下の放水管内を水抜きしているためか？）。放水には一人に対応し、十二分に放水訓練ができた。また、冬期間に館内の遠隔支援システムを用いて茅葺き屋根に放水すれば、屋根の積雪が凍結し加重となってゆくため、非常時以外は冬期間の放水訓練を積雪のない時期に実施すべきと思われる。

その他

HP や SNS はじめ各社新聞に防火訓練を掲載し、「文化財を火災から守る」広報活動に努めている。

訓練風景



写真①



写真②